



IBCLC®の業務における臨床能力

IBCLC®は、母乳育児と母乳分泌に関する専門知識と臨床での専門技術を持っていることが、IBLCE®により認定されています。

臨床能力には、IBCLC業務の責任と活動が含まれています。これらの臨床能力の目的は、IBCLCが安全、適切で根拠に基づいた支援が提供できる分野を公共に知らせることです。この臨床能力は、IBCLCが活動するどの国でも、どのような状況でも適応できます。IBCLCは、自分がトレーニングを受けた分野や専門技術、文化や環境の範囲内で活動します。

I. IBCLCは専門家としての水準を維持しておく責務があり:

1. IBCLCの職務行動規範、IBCLC認定者の業務範囲、IBCLCの臨床能力などで定義された範囲内で専門家としてふさわしく振る舞い活動する。
2. 研究による新たな知見を批判的に吟味、評価し、業務に組み入れる。
3. 知識と技術を向上するため、IBCLCの認定を維持するため、継続的に教育を受ける。
4. 国、管轄区域、職場における法規制の範囲内で活動する。

II. IBCLCは母乳育児を保護、推進、支援する責務があり:

1. 母乳育児とヒトの乳汁分泌についての根拠に基づく教育を家族、保健医療専門家、教育者、コミュニティへ提供する。これは、カウンセリング、教育、クライアント向け情報シート、カリキュラム作成、マルチメディアキャンペーンなど、様々な方法により行うことができる。
2. 地方、地域、国、世界レベルで、災害時を含めていかなる状況においても、母乳育児や母乳/ヒトの乳を飲むことを保護、推進、支援できるような政策の立案に参加する。
3. あらゆる状況で母乳育児を擁護し、母乳育児が子どもの標準の栄養法になるよう昌道する。

4. 母乳育児を推進する実践を支援し、母乳育児を妨害するような実践は妨げる：
 - a. 赤ちゃんにやさしい病院運動Baby Friendly Hospital Initiative (BFHI)、母乳代用品のマーケティングに関する国際規準およびその後の決議、WHOが提唱している「乳幼児の栄養に関する世界的な運動戦略」を推進すること。
 - b. 補足が必要な場合には、与える方法を慎重に選択し、クライアントの目標がかなうよう母乳育児を維持する計画をたてること。

III. IBCLCはクライアントに対して適切なサービスを提供する責務があり、母乳育児に関して母親・子ども・授乳に対する以下のようなアセスメントを総合的に行う：

経過の聴取とアセスメントのスキル

1. 母乳育児の支援を提供するためにクライアントの許可を得る。
2. クライアントの母乳育児/子どもの栄養法の最終目標を確認する。
3. 適切なカウンセリングスキルと技術を用いる。
4. クライアントの個別性を尊重する。宗派、障がいの有無、ジェンダー同一性、性的指向、性、民族、出身国、政治的信念、婚姻状況、地理的位置、宗教、文化などを含むが、これに限らない。
5. 母乳育児の経過を聴取する。
6. 母乳育児とヒトの乳汁分泌に影響を及ぼす可能性がある妊娠前、妊娠中、陣痛や分娩中の出来事について確認する。
7. 生殖補助技術 (ART) による妊娠の場合の母乳育児のリスクを確認する。
8. 乳房をアセスメントして、その変化が機能や母乳分泌に見合ったものであるかどうかを判定する。
9. 母乳育児中の親の身体的、精神的、心理的状态が、母乳育児に及ぼす影響についてアセスメントする。
10. 子どもの既往歴を聴取し、医学的状況が母乳育児に及ぼす影響をアセスメントする。
11. 社会的支援と起こりそうな課題をアセスメントする。

母乳育児をする親子を支援する技術

1. 根拠に基づいた情報を提供し、クライアントが乳児の栄養法に関して意志決定できるよう援助する。

2. 肌と肌の触れあいができるように援助する。
3. 乳児の口腔の形状、神経学的反応や反射についてアセスメントする。
4. 母乳育児に関して、乳児の行動や発達をアセスメントする。
5. 子どもの哺乳行動(哺乳する準備ができていないサインや期待される哺乳のパターン)について教える。
6. 授乳中の親と乳児が授乳のための心地よい姿勢を取ることができるようにし、適宜援助する。
7. 吸着が効果的に行われているか確認する。
8. 効果的に母乳が移行しているかアセスメントする。
9. 乳児が母乳を飲みとれているかアセスメントする。
10. 子どもの排便や排尿をアセスメントする。
11. 母乳分泌に対するリスクも含めて、クライアントと家族におしゃぶりを使うことに関する情報を提供する。
12. 親子の健康のために母乳だけで育てることの重要性と、母乳代用品を使用するリスクについて、クライアントと家族に適切な情報を提供する。
13. 手による搾乳方法についてクライアントに情報提供し実演する。
14. 乳頭の痛みや傷を予防し解決するための情報と対応策を提供する。
15. 乳房緊満、乳管閉塞や乳腺炎を予防し解決するための情報と対応策を提供する
16. 授乳性無月経法 (LAM) を含め、乳汁分泌や母乳育児への影響を考慮した家族計画および受胎方法について情報提供する。
17. 周産期の気分障害を認識し、地域で活用できる社会資源との連携を取り、母乳育児に対応できるよう、クライアントと家族を援助する。
18. 補完食の導入について情報提供する。
19. 乳房のケアを含め、母乳育児中のどの時期でも母乳育児をやめることに関する情報を提供する。
20. 「乳児用調整粉乳の安全な準備、保管、取扱いに関するWHOのガイドライン」に沿った母乳代用品の調乳と使い方に関して情報提供する。
21. ヒトの乳の安全な取り扱い、保管、使用に関して教える。
22. 子どもに必要なカロリーと母乳量を計算する。
23. 母乳産生をアセスメントし、必要に応じて母乳量を増やしたり、減らしたりする情報を提供する。
24. WHO成長曲線を用いて子どもの成長をアセスメントする。

一般的な問題解決のスキル

1. クライアントの授乳や子どもの栄養法に対する態度を推しはかる。
2. 母乳育児をしている親子がそれぞれどんなに個別性があるかということ認識し、そ

の状況下で評価する。

3. クライアントが自分自身の母乳育児の目標を達成するのに影響を及ぼす可能性のある潜在的、顕在的課題や要因を評価する。
4. クライアントが可能な限りのすべての資源を活用して、適切で受け入れることができ、かつ実行可能な母乳育児の計画を立案、実行、評価できるよう支援する。
5. 医学的に脆弱な親子や身体的に障がいのある親子への母乳育児を援助する。
6. 母乳育児中の親子が遭遇する可能性のあるリスクについて、それらを軽減するための情報をあらかじめ提供する。
7. 困難な状況がある/生じた時にその状況をアセスメントし、母乳育児を開始し、継続できる方法を提供する。
8. 眠りがちの乳児の哺乳をいつどのように促すかを提案する。
9. 乳児突然死症候群 (SIDS) のリスクを最小にするための情報と対応策を提供する。
10. 乳児と離れている間(復職、復学、病気、入院など)に母乳育児を継続するための対応策と技術に関してクライアントを援助する。
11. 公共の場での授乳をするための方法についてクライアントを援助する。

技術と補助器具(デバイス)の使用

1. 技術と器具(搾乳器など)および補助器具の使用に関してクライアントに根拠に基づく情報を提供する。
2. 母乳育児を支援する技術と補助器具の使用を評価し、批判的に吟味し、実演してみる。そして、一部の補助器具は根拠がなく、ただ利益のためにマーケティングされている可能性があり、また母乳育児に有害であるかもしれないということを認識する。
3. 技術と補助器具を使うことが母乳育児の開始や継続を支援するのか、あるいは障害となるのか、吟味し評価する。

母乳育児支援の計画立案、実施、評価

1. 成人教育の原理を活用する。
2. 適切な教育方法を選択する。
3. 母乳育児や母乳に関する、地域に根ざしたリソースについての情報を提供する。
4. 母乳産生や子どもの安全に対する影響を含め、母乳分泌と食べ物に関する根拠に基づく情報を提供する。
5. 授乳と薬剤(処方薬および市販薬)、アルコール、タバコ、麻薬の使用に関して、母乳産生と子どもの安全に対する影響を含めて、根拠に基づく情報を提供する。
6. 授乳中の補完代替療法が母乳産生や子どもに与える影響について、根拠に基づく情

報を提供する。

7. 母乳育児とヒトの乳汁分泌に関する文化的、社会心理的、栄養的な側面を統合する。
8. 多胎児への授乳を含め、クライアントが自分自身の母乳育児の目標をうまく達成できるように、情報を提供し支援し勇気づける。
9. 子どもの月齢に応じた母乳育児に関して教える。
10. クライアントや保健医療従事者と関わる際には、効果的なカウンセリングスキルやコミュニケーションスキルを用いる。
11. クライアントと協力的、支援的な関係を維持するために家族中心の支援（ファミリーセントアドケア）の原理を活用する。
12. クライアントが自分たちと子どものために根拠に基づいて意思決定できるように支援する。
13. 理解度を考慮して文化的に受容できるような説明や情報を提供する。
14. 提供したすべての情報や説明をクライアントが理解できているかどうか評価する。
15. 要望があれば、クライアントが母乳復帰できるよう支援する。

IV. IBCLCは、以下のようにクライアントと子どもの主治医や保健機関（保健所など）に対して正直にすべて報告する責務があり：

1. 情報を収集することに関してクライアントの同意を得る。また、その情報を必要に応じて、もしくはその地域の法的な規定に応じて、開示することに対しても、クライアントの同意を得る。
2. 要請に応じてアセスメント記録を提供する。
3. クライアントの連絡先、アセスメント、授乳計画、提案や支援評価などの記録物をすべて保管する
4. 記録物は、その地域で法的に規定された期間保存する。

V. IBCLCはクライアントの秘密を保護する責務があり：

1. クライアントか子どもに危険がある場合の法的な報告義務を除き、クライアントと家族のプライバシー、尊厳、秘密を尊重する。

VI. IBCLCは相応の努力を重ね、真摯に行動する責務があり：

1. 根拠に基づいた、利益相反のない情報を提供することによって、クライアントと家族が子どもの栄養法に関して決定する際の援助をする。
2. 必要もしくは要請に応じて、継続したサービスを提供する。

3. 状況の緊急度に合わせて、機を逃すことなく、他の保健医療提供者や地域の社会資源へ適切に照会する。
4. クライアントと家族に調和の取れたサービスを提供するために、保健医療チームと相互に協力して働く。
5. 業務を行っている国や地域の刑法のもと犯罪行為により有罪となった場合や、他の専門職による制裁措置を受けた場合には、すみやかにIBLCEに報告する。
6. 「IBCLC認定者の業務範囲」に含まれない業務を行ったり、「IBCLCの職務行動規範」に沿わない業務をしていたり、「IBCLCの臨床能力」に満たない業務を行っているIBCLCについては、速やかにIBLCEへ報告する。

スキル習得の場所

これらの技術は病院、公共の保健機関、地域の機関や個人開業のクリニックなどを含む(ただしこれらに限定されない)様々な場所で習得できるでしょう。